

暑くなりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか？

さて、エアコンがなかった時代、人々は涼を取るためにさまざまな工夫をしてきました。そこで今回は、「風」「水」「食」をテーマに、風情ある夕涼みのスタイルをご紹介します。夏の夕方、家の外や縁側に出て暑さをしのぎながら、家族のコミュニケーションを深めてみませんか？



【夜風で涼む】

テラスやバルコニーをオープンエア空間として上手に活用したいものです。縁台がなくても、ダイニングの椅子を出しておけば、気軽に夕涼みができますね。夕方、打ち水をしておくと、温度が下がって心地よい風が吹きます。風のない熱帯夜は、扇風機で外へ風を送ってもよいでしょう。虫除けには蚊取り線香を。懐かしい香りが夏の情緒をいっそう増します。また、家の中は照明も消して、そのかわりにキャンドルを。ほのかな灯りで過ごす夏の夜も風流なものです。そしてロマンチックに星空を眺めてみては。天体望遠鏡がなくても、双眼鏡で天の川や星団、月のクレーターなどが観察できます。星座早見盤を用意して、子供と一緒に夏の星座を探してみるのもいいですね。

【水で涼む】

夕涼みにはビニールプール。といっても、子供が遊ぶためではありません。水を張ったプールを囲んで座り、チャップチャップと足をひたして涼を取ります。ミニボールサッカーなど、軽い水遊びをしてみてもいいでしょう。睡蓮鉢やつくばいを使ったウォーターガーデンは、テラスやバルコニーに涼を運んでくれます。スペースがなければ、金魚鉢やフローティングキャンドルを浮かべたガラスの器なども涼しげです。蛍の観察とまではいなくても、大きめの鉢に水生植物を植え、メダカを放した小さなビオトープガーデンを庭先や玄関先に作れば、水辺の生態系の観察が子供の自由研究の役にもたつかもしれません。

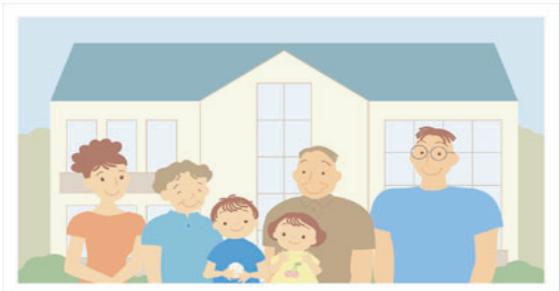


【食で涼む】

ガーデン料理といって、真っ先に頭に浮かぶのがバーベキュー。でも、煙や臭いが気になる、バーベキューセットを置くスペースがないというご家庭も多いのではないのでしょうか。そんな方にオススメなのが、家族みんなで囲めるホットプレート。ワイワイと楽しみながら作るお好み焼き、焼きそばなど、縁日気分で盛り上がるかもしれません。また、作りながら食べるのもいいけれど、作っておいたものをゆっくりと味わうディナーもいいですね。夏の定番メニューのカレーを夏らしい新レシピでバージョンアップしてみませんか。普段のカレーではなく、スパイスを数種類揃え、夏らしくピリッとスパイシーなカレーに挑戦してみましょう。最近ではあらかじめ数種類のスパイスやカレー粉、調味料などがセットで売られているものもありますから、手軽に本格的なカレー作りができます。昼間のうちに親子で一緒に作り、仕込んでおき、旨みが一段と増したころに夕涼みの食卓へ。子供にはスパイシーすぎるなどと感じたら、サワークリームをトッピングしてみると良いでしょう。食後はプリンやゼリーなどのデザートも忘れずに。料理をつくる段階から、家族のコミュニケーションが楽しめますね。

プチ雑学 ■自動販売機のコイン投入口

自動販売機のコイン投入口にはタテのもの（縦）と横のもの（横）の2種類がある。タテのものは投入したコインが回転しながら落ちるので、確実かつスピーディーにコインが装置に転がり込む。それに対して横のものはゆっくりすべりおちるので装置に転がり込むまでに時間がかかるが、自動販売機の内部スペースが節約できる特性がある。なので、タテのものは主に切符の券売機などに、横のものは缶ジュースやタバコなどの自販機にもちいられる。



TOYAスマイル倶楽部事務局
今治市玉川町中村甲677-7
有限会社十弥工務店内
TEL (0898)36-8182
FAX (0898)36-8183
E-mail : toya-info@toya.co.jp